

広報

あなたと町をつなぐ情報誌

はなわ

2013

6

平成25年6月1日

No.595



アンカーに任せろ!

常豊小学校・幼稚園の春季大運動会が5月18日(土)に行われました。

6年生は小学校最後の運動会を精いっぱい頑張り、思い出に残る運動会になりました。PTAによるユニークな仮装ダンスも行われました。

CONTENTS (主な内容)

- 木質バイオマス発電地区説明会開催 … P 2～5
- 企業誘致調印式 … P 6～7
- 道の駅はなわ オープン10周年 … P 8～9
- 白石好子さん叙勲の栄誉 … P 12
- 幼稚園・小学校春季大運動会 … P 14～15

山が荒れています

山林の整備を進めながら

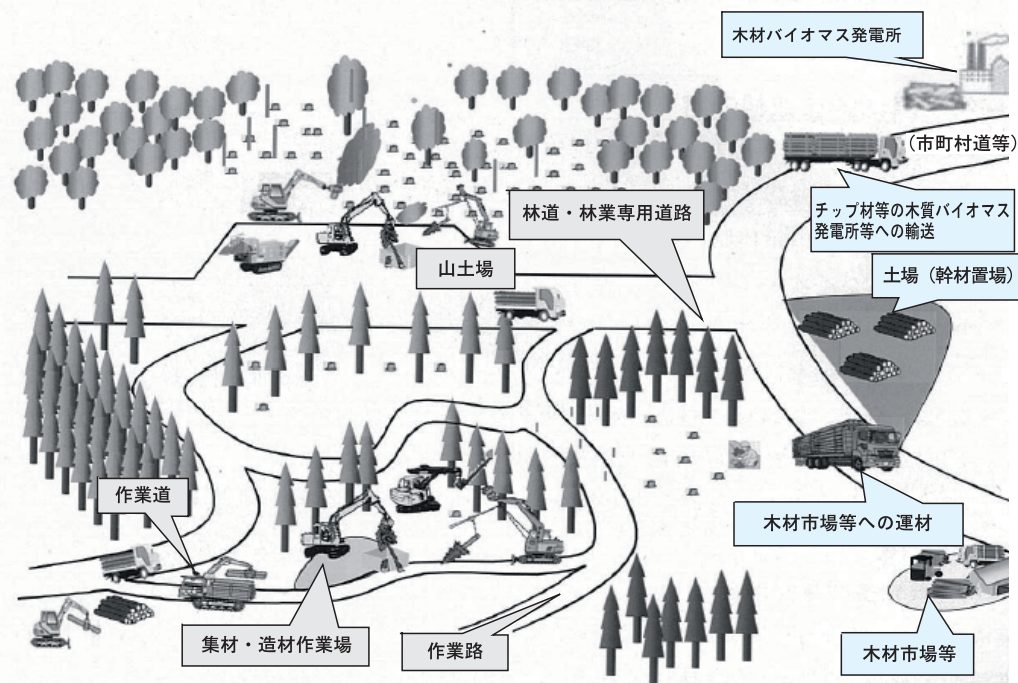
再生可能エネルギー推進の町に

埴町は、第5次長期総合計画の中で、町づくりの理念を「山・水・花のまちづくり」としてきました。その中のプロジェクトの一つが「元気もりもりプロジェクト」で木材産業とともに育ってきた町を、町内森林の適切管理と木材や林産物の有効利用で町の発展につなげようという取り組みです。併せて、原発事故を繰り返さないために、「脱・原発」原子力発電に代わるエネルギーを当地方で生み出すため、木質バイオマス発電の企業誘致を計画してきました。今月号では、その必要性和各地区で行っている「地区説明会」の内容についてお知らせいたします。

「固定価格買取制度は」、昨年7月にスタート。この制度が確立されたために、再生可能エネルギーの事業が成り立つことになり、全国で事業が展開されています。



森林整備なしでは環境は守れない ふくしま森林再生事業が、今年度からスタート



〈森林整備のイメージ図〉

福島県は、間伐等による森林の適正管理を促進し、そこから生産される木質資源を、有効に利用することが大変重要であることから、今年度から「ふくしま森林再生事業」を創設しました。事業内容は、間伐等の森林施業と路網整備を一体的に実施するもので、森林所有者の費用の軽減を図り、所得向上につながる事業です。

人工林は整備が不可欠 土砂災害等の発生が深刻

戦後植林された町内の森林面積は、国有林と民有林合わせて17,420haあり、そのうち民有林の人工林率は、57%で4

800haです。民有林は国有林に比べて、所有面積が小さいため、相対的に整備しにくく整備も遅れてきました。

遅れた原因には、外国産の木材の輸入に伴い、国産材の取引価格の下落、併せて需要が下が

ってしまったためです。さらに後継者不足等の理由で山離れは深刻化し、このまま森林整備の減少が続くと、地域産業としての林業生産活動が停滞するだけでなく、森林の公益的機能が低下し森林の荒廃や土砂災害等の発生が危惧されるためです。

脱・原発に向けた取り組み 再生可能エネルギーの推進

これまでの原子力発電に頼る生活を見直すために、国や県も再生可能エネルギーに目を向けてきました。現在は火力発電所がフル活動を続け、電力の供給を回っていますが、地球温暖化の観点からも専門家からは「見直す必要がある」という見解が示されています。

これを受けて、福島県でも再生可能エネルギーを推進し、当

町においても「再生可能エネルギー実用化ビジョン策定委員会」を設置し検討を進めてきました。その結果、平成23年度までの話し合いで、「当町には太陽光発電と木質バイオマス発電が有効である」という結論に達し、福島県に對しその報告をしています。太陽光については、有効な土地と日照時間の長さを活用するためです。

また、木質バイオマス発電については、循環型社会の形成と、多くの森林資源の活用を目的とするため、新たな二酸化炭素の排出がなく、環境にやさしい取り組みだからです。

現在、多くの皆さまから、森林を燃料とする場合のセシウム対策について、不安の声が寄せられています。安全の確保は不可欠であり、当然行政の責務であると考えています。

不可欠なセシウム対策 安全確保は町の責務です

町は各地区で説明会を行っています

皆さまからの質問にお答えします

Q & A



各地区21ヶ所で説明会を行っています

排水はほとんどなく 真水状態に処理します

Q1 施設から排出される水が心配です。

A1 タービンを回す蒸気は、燃料や灰と接することはありません。さらに、井戸水をくみ上げ、純水にした水を巡回させて使うので、排水は全くと言っていいほどありません。純水はボイラーの熱で蒸気に変わり、タービンを回します。その後、復水器で冷やされて再度水に戻ります。その繰り返しです。また、雨水を含む構内の排水は、排水槽で受けて水処理施設を経由し、真水同様の水に戻し、調整池に放流します。

Q2 飛灰はどのくらいの放射性セシウムがついているのですか。処理する場所は決まっているのですか。

A2 木質バイオマス発電の燃料は、食物と同じ基準の100ベクレル/kg以下のものです。焼の過程で灰は凝縮され、

2,000ベクレル/kg程度になります。飛灰は、飛ばないよううに水を含ませコンテナ車に積み、その都度郡外へ搬出します(産業廃棄物処分場所は決まっています)が、明確な場所が企業が決まってから明らかにいたします。

Q3 バグフィルターの性能が心配です。

A3 「いろんな情報が発信されている」ということは承知しています。しかし、現在

目的は森林整備と エネルギーの創出です

Q4 始まる時期が、除染目的だと言われる原因だと思います。国との契約20年後はどうなるのですか。

A4 除染目的では決してありません。国の固定価格買取制度が、昨年7月1日にスタートし、多くの企業が手を挙げ、栃木県や茨城県でも始まっています。

Q5 まだ契約をしていない段階です。明らかに企業名はなぜ言えないのですか。

A5 森林の循環システムの確立で、事業は継続されます。企業名はなぜ言えないの理由は、企業名を明らかにします。

森林整備と企業誘致で 地元雇用を図ります

Q6 町にはどのようなメリットがあるのですか。

A6 町にはどのようなメリットがあるのですか。目に見える形のメリットは、発電所で働く方が25名程度想定されるため、地元雇用が見込まれます。専門職2名をはじめ、工業系の出身者が望ましいということで、埼玉県高校とのタイアップも可能だと考えています。また、発電所で働く人ばかりでなく、木材の伐採、搬出等の雇用も増加します。これまで山に放置された木材も、燃料材(有価物)として売れるため、森林所有者の収入になり、

Q7 1時間当り69,600³mの排気が出て、健康への影響はないのですか。

A7 ご心配な気持ちは理解します。しかし、排気の大半は、二酸化炭素や窒素などで、問題となるセシウムの被ばく量の許容値(同じ人が生まれてから70歳まで、毎日その空気を吸っても健康に影響がない値)は、年間1³リシーベルト以下で、ベクレルに置き換えると、セシウム134で1³m当り20ベクレル、セ

シウム137は1³m当り30ベクレルです。

あらかじめクリーンセンターの煙突出口での値をみても、1³m当

環境には万全の 監視体制を図ります

Q8 事故が起きた場合、責任は誰がとるのでしょいか。

A8 どんな事業も事故時の想定は必要です。事故対処マニュアル等も作成予定ですが、万が一の事故についての責任は企業になります。行政は、あくまで事故が起こらないように指導します。そのため、モニタリングの設置や第三者委員会等の

Q9 監視体制を図っていきます。

A9 環境アセスメントを、なぜ企業任せにするのですか。環境アセスメントは、本来事業者が行うものです。町は、皆さんの不安を最小限に抑えるため、調査結果の内容が不十分と判断されれば、再度のアセスメントを要請します。



5月19日と5月29日の両日、埴町公民館で「健康講演会」が行われました。講演時の主な内容をお伝えいたします。

<講師>
独立行政法人 放射線医学総合研究所
放射線防護研究センター
発達期被ばく影響研究プログラム
発ガンリスク研究チームチームリーダー
薬学博士 柿沼志津子先生

埴町での子育ては心配ない

- ① ゆっくりより急激な被爆のほうが影響大。広島や長崎に比べて、福島は緩やかだった。(少ない線量を少し長い時間被ばくすることになる)⇒これまでの研究から影響が少ないと考えられる。
- ② 身体の中には、もともと体内カリウム4,000ベクレルに加え、その他の放射線を出す元素も合わせて7,000ベクレルの放射性物質を含んでいる。
- ③ 体内に1ベクレルの放射性物質を摂り込んだ時、DNAの1個に傷をつける。しかし、体内の酵素が毎日働いて修復しているため、現在の身体が成り立っている。
- ④ 胎児については、妊娠中期まで放射能を心配する必要がある。しかし、今回の例では問題なく、「100ミリシーベルトの被爆を超えなければ、中絶することはない」と、相談者に案内した。
- ⑤ 放射能の影響で、ガンが増加する目安は100ミリシーベルトであり、今回はほとんど影響ない。今回の事故に関係なくガンになる人は、2人に1人の比率であり、ガンで亡くなる人の割合は3人に1人の割合である。放射能を心配するより、生活習慣病のほうが心配である。

<質問> 埴町で子育てをすることは心配ないか。
<回答> 問題ない。時々窓を開けてはどうか、半そでにはならないほうが良いかといった質問があるが、どちらも問題ない。(川俣町の教育委員会では、事故後早くに、窓を開けても教室内の線量は高くないことを測定の結果から理解して、父兄に説明している)



売買契約書の調印を行う、菊池基文町長(左)と大関隆司株式会社オーゼキ代表取締役社長(右)

旧高城小学校跡地に、精密機器部品加工の株式会社オーゼキ(本社東京都葛飾区、大関隆司代表取締役社長)の立地が決まり、5月9日(木)、湯遊ランドはなわクラフト館で企業誘致・売買契約の調印式が行われました。

式には、株式会社オーゼキから、大関隆司代表取締役社長、大関範夫会長、小畑聡子管理本部長、大関久子経理部長、町から菊池基文町長、麻山晃邦副町長など関係者4名が出席。菊池町長と大関代表取締役社長

長が契約書の内容を確認した後、調印を行いました。さらに、5月14日(火)に開催された、平成25年第5回埴町臨時議会で、同議会の議決を得て本契約となりました。

今回、町と株式会社オーゼキが売買契約をした埴町大字植田字森戸25番地の旧高城小学校跡地は、11,717・06平方メートルで、売却価格は校舎取壊し費用を含め4千万円です。株式会社オーゼキでは、この敷地に平成26年度中に工場を建設し、福島工場として操業を開始する予定です。

株式会社オーゼキは、昭和42年に東京都葛飾区で創業し、今年で46年を迎えた切削加工の会社です。主要製品は「空圧圧縮機器部品」で、NC旋盤加工やマシニングセンター加工などにより多種多様な精密機器の部品を供給しています。主な取引先として、SMC株式会社などがあります。

今後、空圧圧縮機器の成長と共に発展し、さらなる飛躍を目指して新規工場を建設することになりました。

また、新工場操業開始に際しては、新卒高校生などの雇用も予定されているほか、新工場には、高効率複合工作機械の導入や再生可能なエネルギー関連施設なども予定されています。

重点事業の一つ

企業誘致 ~若者定住化へ向けて~



埴町と株式会社オーゼキが旧高城小学校跡地売買契約を締結

埴町と株式会社オーゼキ(東京都葛飾区)による、旧高城小学校跡地売買契約調印式が5月9日(木)に湯遊ランドはなわクラフト館で行われました。これにより、重要事業として位置付けている企業誘致が実現されました。町では、今後も若者の雇用促進・定住化へ向け進めていきます。

株式会社オーゼキ

会社概要 Company Information

商号 株式会社オーゼキ
 本社所在地 東京都葛飾区東金町1-8-6
 工場所在地 埼玉工場(三郷市)、福島工場(鮫川村)
 資本金 3,000万円
 従業員数 製造部門 男性:56人、女性:13人
 間接部門 男性:5人、女性:6人 計80人

沿革

昭和42年5月 東京都葛飾区に大関製作所として創業
 昭和52年 有限会社大関製作所設立
 昭和62年 埼玉県三郷市に工場建設
 平成3年 福島県鮫川村に福島工場建設
 平成9年7月 創業30年を機に「株式会社オーゼキ」に社名変更
 平成14年11月 ISO9001:2000認証取得
 平成16年9月 新社長就任(大関隆司氏へ)
 平成19年7月 設立40周年
 平成23年11月 資本金3,000万円に増資(1,000万円から)

道の駅はなわ天領の郷 10周年

さらなる町の魅力発信と新たな仕組み・運営の取り組みへ

道の駅はなわ天領の郷は、平成15年4月にオープンし、1年目に来客者約18万人を突破、年間売上約1億6千万円の実績を上げました。そして10年目の今年、約310万人を突破し、年間平均3億円以上の売り上げを上げています。これを記念し4月20日～21日と4月27日～29日に、記念イベントが行われにぎわいました。

震災と原発事故による風評被害を乗り越え、これからも郷の魅力を発信する拠点として大きな存在となっています。



道の駅はなわ物産品組合 組合長 櫻岡 広明さん

関係機関と連携して 頑張っています

平成15年4月に道の駅はなわがオープンして早いもので、10年が経ちました。有り難いもので、当初販売の予想に反し、大勢のお客さまに来店していただき、改めて御礼を申し上げます。

私たち物産品組合一同は、プロ意識をもって安全・安心、品質の良さを心掛けて参りました。おかげさまで年々売上も伸びてきました。平成23年3月11日の東日本大震災や原発事故による風評被害によって、売上げが約36パーセント減少してまいりました。

しかしながら、2年を経過し、徐々にではありますが、お客さまが戻ってまいりました。今後も郷町ならではの物産品を提供してまいります。今年度から法人化として組織の充実を図る予定であり、道の駅はなわを単なる物品の販売の場ではなく、「防災の拠点」や観光協会、湯遊ラ

ンド、商店街などと連携して、「郷町の拠点施設」として捉え、みんなで頑張っていますので、今後ともご愛顧お願い申し上げます。

また訪ねたい そんな道の駅です
県内外より訪れた方々が10周年イベントを楽しめました。



はなわふるさと物産直売センター 組合長 藤田 雅彦さん

農産物を通して郷の良さを発信

道の駅はなわ天領の郷がオープン10周年を迎えたことにより、農産物直売所も10年になります。皆さまに応援をしていただき、オープン以来、毎年前年を上回る売上を記録して参りましたが、誰もが記憶に新しい、東日本大震災と原発事故により、お客さまの来店者数が激減し、さらに出荷制限・風評被害などで、大幅に売上げが落ちてしまい、この先営業が続けられるのか不安な日々がしばらく続きましたが、町や地域の方々の応援や、道の駅はなわのスタッフ、そして組合員一人ひとりの努力で、現在少しずつではありますが、お客さまも増加しています。昨年7月に開店した東京のアンテナショップ「ダリちゃんショップ」



道の駅はなわ 駅長 遠藤 公一さん

さらなる10年を目指す

平成15年4月にオープンした「道の駅はなわ天領の郷」が、今年で10年の節目を迎えました。この間、東日本大震災があったりしましたが、関係各位の皆さまの熱意や努力で、おかげさまで福島を代表する道の駅となり、県内外にも広く親しまれ、多くのお客さまに喜ばれる施設となりました。

郷町の新鮮で安全、そして美味しい農産物や物産品は、道の駅はなわを利用する方々にも、良好でリピーターも数多く見られます。

また、バス旅行の途中に寄られたお客さまも満足されて、帰られる方も少なくありません。

県内には、この4月に26番目の道の駅が出来ており、全国では、すでに千を超えました。半面いろいろな直売所は、すでに飽和状態のようですが、これからも直売所としてだけでなく、多面的な道の駅としての役割と郷町の魅

も新小岩の住民の方々には好評で2回の開店日を心待ちにしてくれています。新鮮な野菜や加工品の魅力はもちろんですが、店長さんや売り子のお姉さんとの会話で郷の良さを感じとってくれていると思っています。これからも道の駅はなわやダリちゃんショップに来てくれるお客さまを裏切ることのないように、組合員全員で新鮮で美味しい安全安心な農産物・加工品の生産に励み、農産物を通して、郷の良さを発信していきたいと思っておりますので、今後とも応援よろしくお願いたします。



4月29日の縁日風イチゴづくり、みんな上手に取れていました。

力を発信し続けていく場所でもあります。10年間の実績と誇り、10年目の確信、これから10年のビジョンをしっかり肝に銘じて、『道の駅はなわ天領の郷』ならではの、特色のある運営に努めていきたいと思っております。



4月28日に行われた餅つき、来客された方々も楽しみました。

豊年満作のみなさんも頑張ってます





みんなが主役
しあわせ実感のまち
はなわ

特別会計					
【歳入・歳出】 (単位：千円)					
区 分	予 算 額	歳 入		歳 出	
		収入済額	執行率	支出済額	執行率
国民健康保険	1,202,285	1,047,119	87.1%	1,103,680	91.8%
後期高齢者医療	90,089	87,459	97.1%	89,353	99.2%
介護保険	845,424	679,784	80.4%	810,925	95.9%
農業集落排水処理事業	136,968	47,378	34.6%	134,245	98.0%
公共下水道事業	178,116	45,040	25.3%	172,241	96.7%
埴林間工業団地用地取得造成事業	20,710	20,705	99.9%	14,016	67.7%
笹原財産区	968	870	89.9%	454	46.9%

* 収入済額・支出済額は平成25年5月10日現在の額で、最終決算額とは異なります。

【歳入・歳出】 (単位：千円)					
区 分	予 算 額	歳 入		歳 出	
		収入済額	執行率	支出済額	執行率
上水道事業(収益的収支)	225,034	227,205	101.0%	218,719	92.0%
上水道事業(資本的収支)	463,543	447,323	96.5%	543,582	96.3%

* 上水道事業については、平成25年3月31日現在の決算額となります。

町債の状況				
【町債の状況】 (単位：千円)				
会 計	区 分	年度末現在高見込み	構成比	
一 般	1 普通債	5,639,875	59.6%	
	うち臨時財政対策債	2,278,259	24.1%	
	2 災害復旧債	61,915	0.7%	
	小 計	5,701,790	60.3%	
上 水	上水道事業債 (簡易水道事業債を含む)	1,199,553	12.7%	
農 集	農業集落排水処理事業債	985,180	10.4%	
	資本費平準化債	121,669	1.3%	
	小 計	1,106,849	11.7%	
下 水	特定環境保全公共下水道事業債	1,388,933	14.7%	
	資本費平準化債	60,898	0.6%	
	小 計	1,449,831	15.3%	
	合 計	9,458,023	100.0%	

補正予算

平成24年度下半期は、片貝地区体育館耐震補強・大規模改修事業、衆議院議員総選挙費用、米の全袋検査費用、除雪費用、基金積立金等の補正を行いました。

また、平成24年度の国の補正予算に伴い予算化された、ため池耐震性点検・調査計画事業、公営住宅老朽化対策事業は平成25年度へ繰越しとなりました。

【平成24年度下半期の一般会計予算補正の状況】 (単位：千円)			
時 期	補正の規模	主な補正事項	
10月臨時議会 (3号補正)	30,772	片貝地区体育館耐震補強・大規模改修事業等の増	
11月(専決) (5号補正)	7,465	衆議院議員総選挙費等の増	
12月定例議会 (6号補正)	19,502	ブランド・イメージ回復支援市町村交付金基金積立金、米全袋検査費用等の増	
2月臨時議会 (7号補正)	6,122	除雪費用等の増	
3月定例議会 (8号補正)	42,322	基金積立金、ため池耐震性点検・調査計画事業、公営住宅老朽化対策事業等の増	
3月(専決) (9号補正)	44,516	特別交付税、国県支出金、地方債等の額の確定に伴う財源整理	
補正合計	150,699		



町の予算が適正に執行されたのか、補正予算がどのように組まれたのかを、町民の皆さんに理解してもらうために、町は「財政状況の作成及び公表に関する条例」に基づき、年2回「財政公表」をしています。
公表する内容は、歳入歳出予算の執行状況や財産、地方債(事業を行うために町が借入をしたもの)の現在高などです。

一般会計					
【歳入】 (単位：千円)					
区 分	予 算 額	収入済額	執行率	予算額のうち	
				繰越分	収入済額のうち繰越分
町税	772,751	831,450	107.6%		
地方譲与税	63,044	63,044	100.0%		
利子割交付金	1,708	1,708	100.0%		
配当割交付金	996	996	100.0%		
株式等譲渡所得割交付金	231	231	100.0%		
地方消費税交付金	85,049	85,049	100.0%		
自動車取得税交付金	17,531	17,531	100.0%		
地方特例交付金	2,320	2,320	100.0%		
地方交付税	2,511,756	2,511,756	100.0%		
交通安全対策特別交付金	1,070	1,070	100.0%		
分担金及び負担金	30,671	27,536	89.8%	2,621	1,909
使用料及び手数料	76,915	84,099	109.3%		
国庫支出金	384,480	348,510	90.6%	17,788	17,783
県支出金	1,041,938	945,407	90.7%	34,492	31,166
財産収入	17,179	22,675	132.0%		
寄附金	13,120	13,353	101.8%		
繰入金	63,646	63,260	99.4%		
繰越金	538,487	558,470	103.7%	108,751	98,325
諸収入	150,159	151,004	100.6%		
町債	604,909	220,200	36.4%	12,000	12,000
計	6,377,960	5,949,669	93.3%	175,652	161,183

【歳出】 (単位：千円)					
区 分	予 算 額	支出済額	執行率	予算額のうち	
				繰越分	支出済額のうち繰越分
議会費	75,774	75,364	99.5%		
総務費	1,686,618	1,400,713	83.0%		
民生費	978,022	742,321	75.9%		
衛生費	494,832	485,360	98.1%	336	0
労働費	31,513	26,765	84.9%		
農林水産業費	722,816	457,689	63.3%	19,573	19,353
商工費	98,383	83,737	85.1%		
土木費	404,097	179,118	44.3%	11,473	9,322
消防費	233,764	227,891	97.5%	26,103	26,103
教育費	974,908	928,117	95.2%	36,151	33,479
災害復旧費	119,443	100,330	84.0%	82,016	64,105
公債費	552,853	552,186	99.9%		
諸支出金	1	0	0.0%		
予備費	4,936	0	0.0%		
計	6,377,960	5,259,591	82.5%	175,652	152,362

* 収入済額・支出済額は平成25年5月10日現在の額で、最終決算額とは異なります。

財政公表

平成24年度下半期 執行状況

「財政状況の作成及び公表に関する条例」に基づき、平成24年度下半期(平成24年10月から平成25年3月)の予算等の状況についてお知らせします。
お問い合わせ
総務課財政係 ☎(43)2111

塙中学校剣道部 各種大会で大活躍

女子優勝・男子3位 相馬野馬追旗争奪近県剣道大会
男女ともに準優勝 三瓶旗少年剣道大会



第9回相馬野馬追旗争奪近県剣道大会が4月21日(日)、南相馬市で開催。塙中剣道部の女子が優勝、男子が3位となりました。大会には男子17チーム、女子11チームが出場。塙中同窓会が寄贈した新しい「胴」のこけら落としとなった大会。素晴らしい成績を収めました。

また、5月18日(土)、県立若松商業高で行われた第39回三瓶旗少年剣道大会では、男女ともに準優勝に輝きました。県内各地から男子51チーム、女子61チームが出場。これまでの厳しい練習や、多数の遠征試合の成果を十分に発揮した大会となりました。

今月行われる中体連県南大会。今後の活躍に目が離せません。頑張れ！塙中剣道部！

ゆうおうまいしん
勇往邁進

剣道部のモットー
(意味)目標に向かってひたすら前進

県南で唯一のモデル校

笹原小学校が「愛鳥モデル校」に指定

笹原小学校への「愛鳥モデル校」指定書交付式が5月20日(月)、同校で行われました。藤田充教育長が児童代表の鈴木翔太くん(6年)に、県知事からの指定書を手渡しました。

愛鳥モデル校は、旧片貝小・旧高城小に続き、同校では初の指定になります。今後、鳥獣保護についての関心を高め、自主的な保護活動に努めていくほか、県南地方振興局のキジ・ヤマドリ放鳥にも参加協力することになっています。



鳥獣保護に努めます(前列左から：深谷未咲さん・鈴木翔太くん・星怜矢くん)

副町長 随想

目標を達成するために

昨年秋に塙町消防団の全国操法大会出場が実現したとき、消防団長がずっとその目標を団員に示し続けたと聞いて、「上に立つ者は、達成困難だがやればできる目標を、情熱を持って言い続けることが必要なのだ」と感じました。

役場では、町長が住民の皆さまにお示した公約について、町長と担当部署等が定期的に集まって進捗状況をチェックし、その後の進め方を決めていきます。達成時期が遠くにある目標は、日々の仕事に忙しいと着手が遅れがちになるので、意識して関係者が認識を共有できるように努めています。

ある本には、目標達成のための能力は「時間を管理すること」「世の中への貢献に焦点を合わせること」「自らの強みに基準を据えること」「力を集中すること」「目標を達成するよう意思決定を行うこと」の5つであると書いてあります。この本を読むたびに、それまでの自分の行いを反省することしきりです……。

文・麻山晃邦

白石好子さん 瑞宝単光章に輝く
多くの方々や家族に支えられ感謝



白石好子さん
しらいし・すみこ(本町・76)
白河女子高等学校(現白河旭)卒業、はなわダリア染めの会会長、東白川地区更生保護女性会副会長を務めている。

「長年統計調査を続けることが出来たのも関係者の皆さまと家族の支えがあったからと心から感謝しています」と、受賞の喜びを話す白石さん。

昭和49年に小売物価統計調査員に任命されて以来、工業統計調査に28回従事したほか、石油等消費構造統計調査19回、小売物価統計調査11回、商業統計調査8回、事業所・企業統計調査6回等、39年の長きにわたり通算80回の各種統計調査に従事し、その任務を確実に遂行されてきました。

温厚誠実であって責任感が強く、各種統計調査の性格および

重要性を熟知し、迅速かつ正確に調査を実施し、統計業務の普及向上に尽力されました。

また、平成3年から9年間、塙町婦人会長に就任し、女性の地位向上や社会参加の促進・福祉の増進に努められ、地域の婦人会をまとめるリーダーとして、さまざまな活動を積極的に取り組まれました。

また、平成3年度から平成10年度まで塙町社会教育委員として、地域における社会教育活動を推進するため、多年にわたり社会教育の振興に尽力されました。

- ◇今日までの主たる栄誉
- 昭和59年 福島県統計協会会長表彰
 - 平成10年 福島県統計協会東白川支部長表彰
 - 平成13年 福島県知事表彰
 - 平成16年 経済産業省より感謝状
 - 平成19年 総務大臣表彰
- ◇今回の栄誉
- 平成25年 春の叙勲「瑞宝単光章」受章



のびのびすくすく

5月28日(火)に行われた3歳児健診(受診者12人)で、むし歯が1本もなかった子どもたち8人を紹介します。



中野西健斗くん(本町)



寺門拓海くん(伊香)



山口柚季くん(台宿)



鈴木琉真くん(伊香)



瀬谷悠虎くん(柳町)



吉田侑平くん(本町)



橋内百花ちゃん(伊香)



本多恭典くん(真名畑)



②
【笹原小学校・幼稚園】
①おむすびころりん(幼・1・2年生)
②紅白スーパーリレー(4・5・6年生)
③笹原川上太鼓(5・6年生)

【常豊小学校・幼稚園】
①走れ！パン食い 一輪車(希望者)
②ちょっと拝借(P.T.A)
※その前にダンスをお披露目。来年は？
乞うご期待！
③第2回常豊ダービー(上学年)



新緑の中に元気な声こだまします

5月18日(土)に常豊小学校・幼稚園で、5月25日(土)に埴小学校、笹原小学校・幼稚園で、春季大運動会が行われました。みんな元気に楽しく、力を合わせて競技を行い、会場内は熱気にあふれていました。埴小では高城小と統合して初めての運動会。よりパワーアップした運動会となりました。
※埴幼稚園の運動会は、9月に開催予定です。

各小学校運動会スローガン

- ・埴小学校 「新しい仲間で見せつけろ！ 埴魂！」
- ・笹原小・幼稚園 「最後まで 一生懸命 ゴールをめざせ、笹原っ子よ 全力で！」
- ・常豊小・幼稚園 「最後まで 力を合わせ 全力で優勝を目指そう！」

【埴小学校】
①必殺!! 助っ人綱引き(3・4年生)
勝利の歓喜編
②騎馬戦(5・6年生)
③必殺!! 助っ人綱引き(3・4年生)
必死の攻防編



東西しらかわ中学校陸上競技大会

東西しらかわ中学校陸上競技大会が5月16日(木)、白河中央スポーツ公園陸上競技場で開催。東白川郡、西白河郡および白河市から18校・800人余りが出場し、各種目で練習の成果を競い合いました。

墙中の選手たちは、自分のため、学校の名誉のため精一杯頑張りました。主な成績は次のとおりです。

※敬称略

【男子】

- 2年100m 第4位 上妻桜路 12秒53
- 3年100m 第3位 鈴木 俊 12秒00
- 共通200m 第8位 菊地翔太 26秒91
- 共通800m 第3位 生方誠人 2分12秒25
- 1年1500m 第4位 添田陽斗 4分59秒07
- 共通走高跳 第7位 松本亮太 1m49
- 共通走幅跳 第6位 近藤 翔 5m52
- 共通4×100R 第4位 上妻桜路・生方誠人
近藤 司・鈴木 俊
- 四種競技 第2位 鈴木大輝 1732点
- 男子総合 第7位

【女子】

- 共通100mH 第3位 勝田美和 17秒80



学校の名誉のため激走!

鈴木大輝くん 四種競技で第2位

祝 100歳長寿 荒川初枝さんに知事祝状



5月2日(木)に満百歳の誕生日を迎えた荒川初枝さん(常世中野)。県知事からの祝状および記念品の贈呈式が同日、介護老人保健施設・久慈の郷で行われました。

加藤清司県南保健福祉事務所長が県知事からの祝状と記念品を贈呈。続いて、菊池基文町長が町からの祝状と記念品等、墙町社会福祉協議会からの記念品を贈呈しました。また、星竹敏・久慈の郷施設長から記念品、次女の岸井裕子さんから花束が手渡され、長男の荒川紘さんが謝辞を述べました。

長寿の秘訣は「早寝早起きと晴耕雨読。毎日、新聞雑誌に目を通し、ラジオを聞き、家計簿や日記をつけることを欠かさない」ことだそうです。いつまでもお元気で!

地域の林業活性化と生活道路整備

林道 楸木田一本木Ⅱ線開通式



平成18年度から整備が始まった県営ふるさと林道緊急整備事業・楸木田一本木線。開通式が5月17日(金)、東河内地内の現地で行われました。菊池基文町長と関係者約40人が出席。テープカットを行い、工事完成を祝い合いました。

本林道は、当町北部と鮫川村西部を結ぶ総延長8,236mの幹線林道として、順次整備が進められ、地域林業の活性化と通勤・通学などの生活道路として大きく貢献できる路線として整備されました。

より良いサービスを目指す

墙町振興公社 総支配人に辞令交付

株式会社墙町振興公社の辞令交付式が5月1日(水)、役場応接室で行われました。新たな総支配人の鈴木清文さん(伊香)および前営業部長で事業部長の江面勝久さん(山形)に、代表取締役の菊池基文町長が辞令を交付しました。

鈴木総支配人は、ホテルオークラ新高輪プリンスホテルなどでの勤務経験があり、ホテルマンとしてのキャリアは十分。今後「スタッフ一同、公社の発展ならびにサービス向上に努めます」と力強く抱負を述べました。



江面勝久・事業部長



鈴木清文・総支配人



墙町担当の行政相談員・和田俊道さん

親切丁寧に相談対応

東北管区行政評価局長表彰を受賞

平成17年度から行政相談員を務めている和田俊道さん(上町)。このたび、東北管区行政評価局長表彰を受賞されました。表彰式は5月21日(火)、郡山市で開かれた「平成25年度行政相談員全体会議」の席上で行われました。その後、和田さんは町役場を訪れ、菊池基文町長に受賞の報告を行いました。

県や町の行政に関する町民からの相談に、親切丁寧に対応する和田さん。これまでの功績が高く認められ、今回の受賞となりました。

県外から埴町に移り住み、地域を元気にする取り組みを進める地域おこし協力隊の2人。住んでみて、活動してみて感じたことなどをつづった彼らの体験記。今月号では、加納さんを掲載します。

矢塚分校物語第2章

加納耕介



まいど、カフェバー&アウトドア矢塚分校・校長の加納です。「来てみりゃわかる、来てみりゃわかる」と、標高800mの上から目線で、しつこく語った前回からはや2ヶ月。どうやらみなさん来てみてわかってくれたらしく、おかげさんで4月・5月の土日はキャンプにバーベキューにほぼ毎週予約でいっぱい。ど平日でも誰かしらがふらっと遊びに来てくれて、先月は来客ゼロの日が2日しかないというなかなかの盛況っぷり。

加納 耕介(かのう こうすけ)・27歳・兵庫県神戸市出身。(株)デイリースポーツ社を経て、平成24年12月から地域おこし協力隊に。毎日更新中のブログ、ツイッター、フェイスブックは「加納耕介」・「矢塚分校」で検索。

そこで埴町の皆さんにお願い。もう単刀直入にいきましょ。『使っていない布団と食器、矢塚分校にください！』どんなものでも構いません。電話一本頂ければすぐ引き取りに伺います。肩もんととか、電球かえてとか、出来る範囲でなんでもやります。ダメもとで書いてくと、テント・寝袋・ランタンなどのキャンプ

さてさて、そんな感じではまず順調に転がり始めたわが校ですが、正直に言って設備面ではまだまだ不足している物が多く、しかしカインズホームで大人買いするほどの資金力もなく、校長自らクシャクシャの千円札を握りしめては福島競馬場に通う日々。特に布団と食器、この2つがなかなか需要に追いつかず、今はその都度、近くの家に借りに行ったりしてなんとかしのいでいるのが現状です。

用品、自転車、野球グローブ、テレビ、プロジェクター、スピーカー、カーテン、カーペット、テーブル、ソファ、座布団などなど……。このあたり頂ければ、のたうち回って喜びます。その他「こんなやつたらあれけどどない?」ってものがあれば加納(080-1661-4975)までご一報ください。なんとしても万全の状態でハイシーズンを迎えたいんです。ご協力のほど、どうかよろしくお願いたします!

目線でお待ちしています。それから、矢塚分校のFAC EBOOKファンページ作ってみました。ほぼ毎日更新してしますので、<http://www.facebook.com/yatsukabunkou>までぜひひいひいね!お願いいたします。ほな今月はこの辺で。ぼちぼちいっぺん来てみます?



いつものメンバーの誕生会。「いいね!」

使っていない布団・食器ください。

をえる年金 くらさ国民

町民課住民係
☎(43)21114
白河年金事務所
☎0248(27)4161

年金の繰上げ・繰下げ請求

老齢基礎年金は、原則として65歳から支給されることになっていますが、本人の希望により繰り上げ受給または繰り下げ受給をすることが出来ます。

◎繰上げ請求の注意点

- ① 65歳になるまで、遺族厚生年金や遺族共済年金は併給されません。
- ② 繰上げ請求した後は、原則として障害基礎年金は請求できません。
- ③ 寡婦年金は受けられません。

◎繰下げ請求の注意点
① 65歳に達する前に、あらかじめ支給の繰り下げの手続きをする必要があります。

繰上げ請求時の年齢	減額率
60歳0ヶ月～60歳11ヶ月	30.0%～24.5%
61歳0ヶ月～61歳11ヶ月	24.0%～18.5%
62歳0ヶ月～62歳11ヶ月	18.0%～12.5%
63歳0ヶ月～63歳11ヶ月	12.0%～6.5%
64歳0ヶ月～64歳11ヶ月	6.0%～0.5%

繰下げ請求時の年齢	増額率
66歳0ヶ月～66歳11ヶ月	108.4%～116.1%
67歳0ヶ月～67歳11ヶ月	116.8%～124.5%
68歳0ヶ月～68歳11ヶ月	125.2%～132.9%
69歳0ヶ月～69歳11ヶ月	133.6%～141.3%
70歳0ヶ月～	142%

どちらの請求をされても、生涯増額・減額された年金額を受給することになりますので、よくお考えのうえ請求してください。

年金受給額は、納付済み期間・免除期間により変動しますので、「ねんきん定期便」などで受給額を確認してください。



図書館情報

6月のテーマ



お父さん・お母さんの本
図書館では毎月テーマを決め、そのテーマに関する本を集めたコーナーを設けています。今月は、その中から一冊の本を紹介いたします。
なお、希望する本が貸し出し中の場合、予約もできます。
☎(43)0808



「たいふうがくる」

みやこし あきこ/作・絵
BL出版

●ものがたり

今日は金曜日。明日は家族で海に行く予定なのに、これから台風が来るからと学校から早く帰って来た。ずっと楽しみにしていたのに……。お父さんとお母さんは、てきぱきと台風対策に備えて雨戸を閉めたり、植木鉢を家のなかに入れたりしています。モノクロで描かれた絵は、少年のがっかりした暗い気持ちや、台風が来る前の緊張感が良く表現されています。モノクロのページの中によく見ると猫がいるので、猫を見つけるのも楽しいです。
少年は諦めてベッドに入って、台風を吹き飛ばす機械を操る夢を見ます。そして迎えた土曜日の朝。ここから先は内緒におしましよ!



はなわふれあい スポーツクラブ通信

6月号
10000

はなわふれあいスポーツクラブでは、
随時、会員を募集しています。
一緒にスポーツでさわやかな汗を流し
ませんか。
詳しくは下記までご連絡下さい。

第12回カローリング大会& ファミリーカローリング交流会

日時 6月30日(日) 受付 午前9時
競技 午前9時30分

場所 埴町営体育館
資格 小学生以上(1チーム3人)
参加費 1チーム 3,000円
その他 交流会は無料で、何人でも可
申込み ①窓口②電話③FAX④メール
詳しくは、事務局までお問合せください。

ふれあいスポーツ出前教室

地域に愛されるスポーツクラブを目指して、
地域貢献活動の一環として出前教室を行います。

出前メニュー

- ノルディックウォーキング
- キッズクラブ
- 親子体操
- カヌー
- カローリングなど

詳しくは、事務局までお問合せください。

<http://hanawa-fsc.jp>
埴町大字埴字桜木町80(埴町公民館内)
☎0247-43-2644 FAX43-1883
mail: hanawa.fsc@gmail.com



▲みんな楽しみながら踊ってます

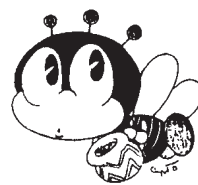


携帯電話から
今すぐアクセス!

6月号 10000 かっこよく踊ろう! Street Dance School

5月21日(火)からストリートダンススクールが始まりました。ストリートダンスには様々な種類がありますが、ふれあいスポーツでは、主に小中学生を対象に「ヒップホップ」を指導しています。ストリートダンスに興味のある方、参加してみませんか。

○参加費 8,000円(クラブ会員は4,000円)
詳しくは、事務局まで



マナビ はなわ

～埴町生涯学習だより～ 6月号

発行：埴町教育委員会生涯学習課

問い合わせ

生涯学習課

☎ 43-2644

埴町公民館

☎ 43-0320

まナビとファインダー URL

<http://www.manabito.fks.ed.jp/win.html>

地域で学ぼう! 埴町子ども教室はじまる

埴町小学校の児童を対象に、毎週金曜日台宿分館で行われる「埴町子ども教室」が、5月10日からスタートしました。埴町子ども教室は「地域の子どものは、地域の大人で育てよう」を目的に実施され、今年度は62名が参加しています。子ども教室では、保護者の方をはじめ多くの町民の皆様にも参加いただくため、ボランティアを随時募集しています。

問い合わせ
埴町公民館
☎(43)0320



▶5月10日は母の日カード作成

放送大学 10月生募集のお知らせ

放送大学では平成25年度第2期(10月入学)の学生を募集中です。放送大学はテレビ等の放送やインターネットを通して学ぶ通信制の大学です。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で幅広い世代、職業の方が学んでいます。○15歳以上の方なら、1科目から学習する選択履修生・科目履修生として入学できます。○18歳以上の大学入学資格をお持ちの方なら、入学試験はなく、全科履修生として入学でき、4年以上在学して124単位を修得し卒業すると、学士(教養)の学位を取得できます。○一つの分野を体系的に学びたい方には「放送大学エキスパート」実施しています。出願期間は8月31日まで。資料を無料で差し上げています。お気軽に放送大学福島学習センター(☎0249217471)まで。

埴町B&Gプール6月13日オープン

今月6月13日からB&Gプール(台宿字下川原)がオープンします。全天候型施設で、どなたでも無料で使用できます。7月から8月までは、夜間も開所いたしますので、仕事帰りにも利用できます。ぜひお気軽にご利用ください。

B&G海洋センター

施設

25mプール、幼児用プール

開所期間

6月13日(木)
～9月13日(金)

開所時間

○午前部
午前9時～正午
○午後部
午後1時～午後4時30分
○夜間の部
(7/1～8/31のみ)
午後5時～午後8時



▶B&G水泳大会

定休日

月・火曜日(夏休み期間中は月曜日のみ)及び祝日の翌日

注意事項

プール利用の際には水泳帽を着用してください。

問い合わせ

○B&G海洋センター
☎(43)3192
○生涯学習課
☎(43)2644



▲B&G埴海洋センター

学校支援ボランティア募集

学校や地域で体験活動やボランティア活動の指導者として活躍している、学校支援ボランティアに登録してみませんか。

学校支援ボランティアとは、幼稚園、小学校、中学校、高校、福祉施設等を対象に、各人が得意としている分野で、体験活動の指導やボランティア活動などを行うものです。その活動内容は、授業参観時の託児やダリアの植え付け指導、本の読み聞かせなど実にさまざまです。あなたも学校や地域での活躍の場を広げてみませんか。登録は個人でも団体でもOKです。

申込方法

個人登録と団体登録があります。両方で登録してもかまいません。

申込用紙は、埴町教育委員会生涯学習課にあります。

申込み、問い合わせ

生涯学習課生涯学習係 ☎43-2644

こんな人たち、待ってます!



情報くらしの報

役場の電話番号
 ☎ 0247-43-2111(代表)
 役場のFAX
 0247-43-2116
 町のホームページアドレス
<http://www.town.hanawa.fukushima.jp/>

町のメールアドレス
 soumu@town.hanawa.fukushima.jp

※意見や要望のある方はご利用ください。

【直通電話番号】

総務課 ☎ 43-2111
 町民課 ☎ 43-2113
 ☎ 43-2114
 健康福祉課 ☎ 43-2115
 包括支援センター

☎ 43-2224
 ☎ 43-2227
 まち振興課 ☎ 43-2112
 ☎ 43-2118

まち整備課 ☎ 43-2117
 水道課 ☎ 43-2148
 会計室 ☎ 43-2149
 埴保育園 ☎ 43-0377

議会事務局 ☎ 43-2150
 農業委員会 ☎ 43-2119
 教育委員会

☎ 43-4050
 学校教育課 ☎ 43-2644
 生涯学習課 ☎ 43-0320
 公民館 ☎ 43-0808

図書館 ☎ 43-0188
 給食センター ☎ 43-0378
 東白衛生組合

相談

全国一斉「子どもの人権110番」強化週間

福島地方法務局

法務省人権擁護局と全国人権擁護委員連合会は、6月24日から30日までの7日間、全国一斉「子どもの人権110番」強化週間として、いじめや嫌がらせ、虐待、体罰など子どもの抱える人権問題について電話相談を実施します。秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

なお、強化週間以外の日（土・日・祝日を除く）においても、午前8時30分から午後5時15分まで相談に応じて

いますので、ご利用ください。

■期間

6月24日(月)～30日(日)

■時間

午前8時30分～午後7時
 ※6月29日(土)・30日(日)は午前10時～午後5時まで

相談電話番号(フリーダイヤル)

☎ 0120(007)110

問い合わせ

福島地方法務局人権擁護課

☎ 024(534)1994

「特設 登記・人権相談所」および「相続に関する説明会」

福島地方法務局

日常生活や震災被害でのさまざまな心配ごと、困りごとなど相談に応じます。相談は無料で、法務局職員、人権擁護委員、司法書士、土地家屋調査士および公証人がお受け

試験

国家公務員採用一般職試験(高卒者試験)

人事院東北事務局

■申込受付期間

①インターネット

6月24日(月)

～7月3日(水)

②郵送・持参

6月24日(月)～28日(金)

■第1次試験

9月8日(日)

■問い合わせ

人事院東北事務局第二課試験係

☎ 022(221)2022

<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>

お知らせ

今年「はかり」の定期検査の年です

まち振興課

取引や証明に使用する計量器(はかり)は、2年に一度検査を行う必要があります。これまで検査を受けたことのない「はかり」で取引や証明に使用しているものがあれば、ご連絡ください。前回の検査を受けている場合は、事前に「はかり」の種類や個数の確認をしますので協力ください。

なお、一般家庭内でのみ使用する「はかり(体重計など)」は、検査対象外です。

■検査日

○所在場所検査(各事業所など)

7月8日(月)～12日(金)

○集合検査(埴町公民館)

9月11日(水)

問い合わせ

まち振興課商工観光係

☎(43)2112

あなたの健康、見守ります。県民健康管理調査 基本調査問診票のご回答のお願い

県民健康管理センター

平成23年3月11日から7月11日までのご自身の外部被ばく線量を確認いただくために、問診票の提出をお願いします。

◎出前書き方説明会・相談会
 県と県立医科大学では、「県民健康管理調査 基本調査問診票」に関する出前書き方説明会・相談会を開催します。

■専門相談

毎月第3木曜日

午後1時30分～午後4時

※予約制。来所相談。精神科

医師・ダルクスタッフが対応。

■電話相談

午前9時～正午

午後1時～午後5時15分

※土日祝祭日・年末年始除く。

当センター職員が対応。

■専門相談日程

6月20日(木)、7月18日

(木)、8月15日(木)、9月

19日(木)、10月17日(木)、

11月21日(木)、12月19日

(木)、1月16日(木)、2月

20日(木)、3月20日(木)

■問い合わせ

福島県精神保健福祉センター

☎ 024(535)3556

■開催日時

午前9時～午後4時

(土・日・祝祭日を除く)

※1回当たり10人～15人までの相談が可能です。

問い合わせ

福島県立医科大学

県民健康管理センター

☎ 024(547)1786

ホームページ「あなたの健康、見守ります。」で検索

『エコチル調査』に御協力ください

福島ユニットセンター

近年、子どもたちの間では、ぜんそくやアトピーなど、生活環境の中にある物質が原因のひとつと考えられる病気が増えています。環境省では、その原因を明らかにし、有効な対策を講じるため2011

年1月より「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」を開始しました。

福島県では、エコチル調査福島ユニットセンター(県立医科大学内)が県内の全市町村を対象に実施しています。

エコチル調査の参加登録は、2014年3月末までです。

■エコチル調査で行うことは…

○全国15地域で、10万人の妊婦の皆さんに参加をお願いします。

○調査は、妊娠初期から赤ちゃんが13歳になるまで実施されます。

○子どもたちと両親には、血液や尿の採取、質問票への記入などをお願いします。

■問い合わせ

福島ユニットセンター専用フリーダイヤル

☎ 0120(327)735

平日午前9時～午後5時

■しあわせ金婚夫婦表彰

埴町社会福祉協議会

9月に開催予定の「埴町敬老会」の席上で、金婚夫婦表彰を行います。該当される夫婦の方はお申し込みください。

■表彰該当者

昭和38年1月1日から同年12月31日までに結婚した夫婦。ただし、昨年届け出漏れのあった該当者もその対象とします。

■受付期間

7月19日(金)まで

■申し込み・問い合わせ

埴町社会福祉協議会

☎(43)2154

おくやみ申し上げます

4月16日から5月15日までの届け出亡くなられた方

年齢	住所
江田 芳治 さん 65歳	植田
茂木トライ さん 86歳	ユーハイムやみぞ
鈴木ノブ子 さん 90歳	植田
鈴木 クニ さん 96歳	ユーハイムはなわ
三本松暎子 さん 79歳	大町
金澤 源藏 さん 78歳	真名畑
小藤 マサ さん 89歳	代官町
緑川 ユリ さん 87歳	ユーハイムやみぞ
小針 政治 さん 64歳	上石井
緑川 牧 さん 85歳	折籠

※この欄に掲載を希望されない方は、届け出の際に窓口にお申し出ください。
 ※「こんにちは赤ちゃん」は27ページに掲載してあります。

町が独自に調査した放射線測定値を報告します

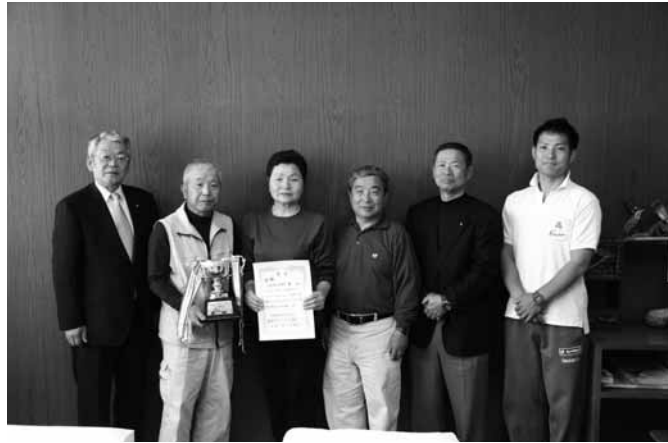
(町内35カ所)

片貝分館		折籠集会所	
5/16	0.11	5/16	0.12
埴町役場	0.11	西河内分館	0.10
道の駅はなわ	0.11	堀越集会所	0.13
上洪井集会所	0.11	小高集会所	0.13
台宿分館	0.13	東河内分館	0.13
稲沢集会所	0.12	一本木集会所	0.12
上石井分館	0.12	中塚集会所	0.12
吉成運送第2倉庫前	0.14	菅原地区公民館	0.12
伊香分館	0.11	川上四区集会所	0.11
古宿屯所前	0.11	大蔵分館	0.12
高城地区公民館	0.12	前田集会所	0.12
真名畑分館	0.12	木野反分館	0.11
常豊地区公民館	0.12	湯遊ランドはなわ	0.11

※測定機器：シンチレーションサーベイメータ日立アロカTCS172

※福島県ホームページにおいて、福島県放射線測定マップが公表されています。

TOWN TOPICS



左から：菊池基文町長、渋谷文雄さん、横田愛子さん、白石真嗣さん、古橋博理事長、藤田健マネジャー

県カローリング大会で優勝！

—はなわふれあいB 全国大会に出場決定—

5月12日(日)に須賀川市で行われた県カローリング大会で、はなわふれあいBチーム(渋谷文雄さん・横田愛子さん・白石真嗣さん)が優勝しました。また、開会式の席上、はなわふれあいスポーツクラブの藤田健マネジャーが普及功労賞を受賞しました。メンバーと事務局は5月17日(金)、役場を訪れ優勝と全国大会出場を報告しました。

全国大会は9月22日、名古屋市で開催。塙町のチームは2年連続の出場になります。全国でも頑張れ! 「はなわふれあいチーム」

ぼくたちも「防火の誓い」

—常豊幼稚園・幼年消防クラブ入団式—

常豊幼稚園の幼年消防クラブ入団式が5月10日(金)、同園ゆうぎ室で行われ、年少児8人・年長児1人の9人が入団しました。

式では、防火ワッペンが小室敏之棚倉消防署塙分署長から西牧武美園長へ、西牧園長から園児代表の生方奈月ちゃん・下重怜汰くんに交付されました。町から防火ポスター用画用紙も贈られ、園児たちは「ぼくたち わたしたちは かじをおこさないよう ちかいます」と、誓いのことばを元気よく行っていました。



絶対に火遊びはしません!



レクダンスをみんなで楽しみました

楽しく踊って健康づくり

—県レクリエーションダンス協会・ふれあい講習会—

県レクリエーションダンス協会の第2回「ふれあい講習会」が5月26日(日)、塙町営体育館で行われました。塙レクダンス協会ははじめ県内から7団体約600人が参加。表郷レククラブによるデモンストレーションがあった後、参加者みんなで踊りの講習が行われました。

午後は塙レクダンス協会が「ひとり長良川」など参加団体が一曲ずつダンスを披露。参加者は、心地良い汗を流しながら楽しく交流し、レクダンスを楽しんでいました。



無病息災や家内安全を願って

男たちの勇壮な鐘巡行

—米山薬師春季大祭・鐘もみ祭り—

3年に一度行われる米山薬師春季大祭「鐘もみ祭り」が5月4日(土)、台宿地内で行われました。地元青年会や消防団員などの皆さんが、2本の大丸太に縛り付けた米山山頂から下ろされた約300kgの梵鐘を担ぎ、鐘を打ち鳴らしながら地区内を勇壮に練り歩きました。

この祭りは、200年以続く地区の伝統行事で、無病息災・家内安全・五穀豊穡などを願うもの。地域の皆さんは、後世に受け継がれることを願いながらその様子を温かく見守っていました。

放射線に関する基礎知識

—健康講演会「放射線と私たちの健康」—

健康福祉課による健康講演会が5月19日(日)、塙町公民館で行われました。講師の独立行政法人放射線医学総合研究所放射線防護研究センター 発達期被ばく影響研究プログラム 発がんリスク研究チームリーダーの柿沼志津子さんが、「放射線と私たちの健康～放射線の基礎知識と影響について」を演題に講演がありました。

質疑応答もあり、参加者は放射線についての理解を深めました。



約70人が聴講し理解を深めました



田んぼに足を取られ悪戦苦闘

秋の豊作を願って

—塙小「田んぼの学校・田植え」—

塙小の田んぼの学校・田植えが5月10日(金)、学校裏の田んぼで行われました。5年生45人が参加。田んぼの学校は、台宿の水と資源を守る会の皆さんの協力を得て実施されるもの。田植えから稲刈りまでを体験。平成18年から実施されています。

児童たちは、歓声を上げながら楽しく田植えを行い、豊作を願っていました。この後は、稲の生育状況の観察や水生生物の調査なども行う予定になっています。

まちの話題

あなたの地区の話題を提供してください。

取材に伺います。

※広報はなわに掲載された写真を希望される方は、総務課☎43-2111までご連絡ください。



中井 由美子さん
(台宿)

職業 会社員
趣味 温泉めぐり
好きな言葉 「いいね！」

振り返り

私の記憶に残っている幼少期は、三歳くらいでしょうか。近所に住む子どもたちと、鬼ごっこ、虫捕り、川遊びとたくさん遊んだ後は、百円玉を片手に近くのお店で駄菓子を買って、無邪気に毎日過ごしていました。「もうすぐ幼稚園に行くんだ」と、初めての集団生活に、不安と期待を抱いていたのを思い出します。

小学校になると、勉強に運動に何事にも一生懸命「将来は○になりたい」と夢を持つことは覚えました。中学・高校・思春期を迎え、扱いづらくなった私に、両親も相当苦労したことと思います。そんな両親をよそに、私は青春時代を過ごしました。泣いて、笑って、けんかして、大切な仲間たちに出会うことができました。ひとり暮らしを始め社会になると、年齢と性別に関係なく色々な人たちに会い、たくさん経験をし視野が広がって、人生観が変わりました。何をすることも新鮮で、楽しくて今が良ければそれで良いと、昔抱いた夢はどこかに忘れ、ただただ日々を過ごしました。

那倉に住んで

私は、いわき市出身で縁があり那倉に住んで、一年になるとうとうしています。私の生まれ育ったいわき市は、気候も暖かく住みやすい地域ですが、那倉の夏は涼しくとても過ごしやすいくらいです。驚いたのは、冬の寒さにはとても驚きました。雪の多さと四月だというのに雪が降り積もる光景を見て、大変驚きました。こんな自然豊かな土地で、現在一緒に暮らしている、お義父さん、お義母さん、義弟夫婦には大変感謝しています。私の大好きな晩酌にも付き合っていたいただき、一日の疲れを忘れさせてくれる家族に頭が上がられません。



芳賀 薫さん
(那倉)

職業 会社員
趣味 音楽鑑賞
好きな言葉 「為せば成る為さねば成らぬ何事も」

また、心機一転、仕事も新しい職場に勤務して一年になるとうとうです。こんな私を親切丁寧に指導してくださいました。先輩方にも大変感謝しています。微力ではありますが、少しでも会社に貢献できるよう頑張りたいと思います。会社の皆さん今後ともよろしくお願ひいたします。

また、近隣に住んでいる方にも大変感謝しています。娘と散歩をしていると声を掛けてくれて、時には近くにあるお店で娘と買い物していると娘にお菓子やジュースを買ってくれる温かい人たちに感謝しています。

私はこの一年、あつという間に過ぎた感じがします。家族の優しさ、近隣に住んでいる人の優しさ、職場での優しさに触れ、私はとても幸せです。那倉に引越して良かったと思っています。近々ではありますが、私に家族が増えます。この子どもたち二人を自然豊かな那倉で、伸び伸びと育ち、人の温かさに触れ、思いやりのある優しい子に育てたいと願っています。

町民の皆さま今後ともよろしくお願ひいたします。

■次回は長木太治さん(那倉)です。

「東京塙会」からこんにちは

No.113



高瀬 シヅイさん
茨城県日立市在住
(田野作出身、旧姓：星)

ふる里と今

東京塙会の皆さん、こんにちは。
青葉の美しい季節です。私は、実家で十五年間遊びました。

実家は、田野作なので小学校は、丸ヶ草分校で三年間学び、分校までの道のりは遠かったです。

四年生から笹原小学校へ、そして中学校にと、またまた遠い道のりを通学したものです。田舎は、山の実りも豊かで、野イチゴ・アケビ・山菜

等々、真っ黒になりながら野山を駆け歩いた思い出。そのおかげで、年をいくつも重ねても、足腰が丈夫なのかと思えます。

年に一回程度、国内・海外に旅行に出掛けます。早稲で田舎を出て、五十五年も過ぎてしまいました。

五月五日、子どもの日に東京ドームの中に五万弱の観衆の中、松井秀喜さんの引退セレモニーと長島さん・松井さんの国民栄誉賞の授与式を見ることが出来、すごく感動しました。二度とない夢のよう

このコーナーでは、東京塙会の皆さんの懐かしい思い出やふるさとへの思いを紹介しています。

な思い出となりました。これも、元気でいれる日々感謝しながら、東京塙会のますますの発展をお祈り致します。

(次回は、埼玉県越谷市在住の深谷正孝さんです)

「東京塙会」では会員を募集しています

平成3年2月に結成された東京塙会。現在の会員は202人です。会員には毎月「広報はなわ」や情報誌「ふるさと情報」を送るほか、ふるさと訪問・定期総会などがあります。

会員の皆さんは塙町出身のお友達を、町内の皆さんは東京都などで生活しているご家族に加入をぜひおすすめください。

- 年会費 3,000円 (入会金はありません)
- 問い合わせ 東京塙会事務局 (まち振興課) ☎0247-43-2112

こんにちは赤ちゃん

4月16日から5月15日までの届け出

出生児名	父	母	月/日	住所
吉田 東矢 <small>とうや</small> くん	栄 治	慶 子	4/27	台 宿
羽田蒼 <small>そうすけ</small> 之介 <small>すけ</small> くん	友 哉	祐 子	5/6	板 庭



※「おくやみ申し上げます」は23ページに掲載してあります。

心温まる善意に感謝(5月分)

- 金澤 三郎 様 (真名畑) 10,000円 (風呂山公園つつじ募金)
- 白坂 理興 様 (山形) 10,000円 (風呂山公園つつじ募金)
- 保住 富晴 様 (東京都八王子市) 10,000円 (町振興のために・通算13回目)

【おわびと訂正】

先月号(5月号)掲載の氏名について、下記のとおり誤りがありました。訂正しておわびします。

- 10頁 塙町消防団役員 (誤) 金澤孝広 (正) 金澤貴広
- 23頁 心温まる善意に感謝 (誤) 大縄 勝 (正) 大縄 優



自宅敷地内にあるアトリエで、仲間の皆さんと楽しく作陶されている

小さいときから家庭の食卓で陶器の食器を使っていて、自分の作った物で、ご飯を食べることが出来たら良いなと思っていた有坂さんは、奈良県の芸術短期大学（陶芸科）を経て、地元に戻り作陶を続けている。

高校生のときに、美術科の先生に勧められたのがきっかけで、もともと手を使ってちょこちょこ物を作るのが好きで、とにかく粘土いじりが楽しく、肌に合い、始められた。また、今は亡き穂積正夫さんをはじめ、吉田正耕さんや地元の陶芸する皆さんに仲間と窯焼きをする楽しさを教えていただき、その道へ進まれた。

自分の好きな時間に、「一気集中」して作陶していき、焼き上がるまで集中力をきらさず仕上げていくことが私の仕事であり、これ

からも続けていきたい。陶芸の楽しさは、粘土をこねる最初から、ろくろを引き、焼き上がり、実際に使ったり、飾って見る最後まで楽しめ、同じものが作れないのが魅力。倶楽部に来ている人には、ゆくゆくは自分で窯を持って、家族で楽しんでいただきたい。今後は、地域に広まって、埴町でも瀬戸物市が出来ればうれしいと考えている。

また、今まで作陶を続けられたのは、家族や周りの方々の協力があったからこそであり、今後も仲間や家族を大事にし、続けていきたいと話すと有坂さん。

月窯倶楽部の仲間の方々も、「粘土をいじって童心に戻った感覚で、自由にやらせてくれるのが楽しい」と話し、とても楽しい雰囲気活動されている。



PROFILE：ありさか・あさみ（南原）
高校を卒業後、奈良の短大へ進み、地元に戻って作陶生活を始め、約12年前に月窯倶楽部（月曜・火曜）を設立し、郡山や会津でグループ展に参加。また、町や白河・須賀川などで陶芸教室の講師をされている。

●休日の当番医院

6月9日(日)	埴 厚生病院 ☎ 43-1145	7月7日(日)	東 館 診 療 所 ☎ 46-3165
6月16日(日)	木 村 医 院 ☎ 46-3528	7月14日(日)	大 木 医 院 ☎ 33-2424
6月23日(日)	あらまちクリニック ☎ 33-8018	7月15日(月)	金 澤 医 院 ☎ 46-2312
6月30日(日)	和 田 医 院 ☎ 33-2012	7月21日(日)	東白川中央医院 ☎ 33-3263

▼5月もあっという間に過ぎ
てしまい、相変わらず毎日バ
タバタしており、先月
は、各幼稚園と小学校で運動
会が行われ、約20年ぶりに運
動会を見に行きました。競技
く、取材にいきました。写
の邪魔にならないように、写
真をとることが出来たと思っ
ておりますが、保護者の方々
のカメラに邪魔になっている
のではと終わってから感じて
ました。写真を撮るのに、あ
ちにこっちにと動き回って、
自分も参加している感じがし
ました。

（神永 巨）

●今月の納税

町県民税 全期前納・1期
納期限 7月1日(月)

●町の人口 9,671人(5月1日現在)

男性 4,763人(-2) 世帯数 3,314戸(+7)
女性 4,908人(-12) ()内は前月比

※広報はなわの「町の人口」は、住民基本台帳の人口、世帯数を掲載しています。

各種統計調査を実施

埴町統計調査員協議会に入会しませんか

埴町統計調査員協議会では、国などが実施する各種統計調査の調査事務に当たっていただく会員を随時募集しています。

■調査員の仕事
各種統計調査の調査対象を訪問して、調査票を配布・回収していただきます。

■問い合わせ
埴町統計調査員協議会事務局 総務課企画情報係
☎ (43)2111

発行・編集／埴町役場 〒963-1549
印刷／佐藤印刷所 福島県東白川郡埴町大字埴字大町三丁目21番地
FAX (0247)431211
TEL (0247)431216